

森づくりの最前線

上越森林管理署 妙高森林事務所 森林官 小林 誠



新緑の妙高山

私の勤務する妙高森林事務所は、新潟県の最南部の妙高市に位置し、長野県との県境付近の国有林約11,500㍍を管理しています。国内有数の豪雪地帯で人工林適地が少ないことから人工林面積は約1割程度です。また、そのほとんどが自然公園に指定されています。

管内には火打山・妙高山・高妻山と3つの百名山を有し、登山・トレッキングの利用者が多く、また、妙高山麓の関川上流に位置する標高約1,300㍍～1,900㍍の山岳地帯にある笹ヶ峰ダムに隣接した区域は、「笹ヶ峰自然休養林」(2,201㍍)に指定され、隣接民有地の国民休暇村、笹ヶ峰ダム乙見湖等と一体的な利用を図る場所として、森林浴、ハイキングなど体力づくりのための研修や合宿の利用が盛んで、また、森林レクリエーションや自然観察会及び森林教室の利用者も多数います。

これらの、多様な利用者が安全に利用できるように、枯れ木、枯れ枝や道の崩落等を早期に発見し、除去又は整備できるよう、パトロールに励んでいます。

これに加え、当署においては、7月から10月までの間、週末を中心にグリーンサポートスタッフが、利用者に安全の呼びかけや入林マナーを呼びかけるチラシを配布しながら、妙高山周辺の自然のPR活動にも積極的に取り組んでいます。

森林施業の面では、着任後、管内の多くの植栽箇所を見て回りましたが、豪雪地帯のためか成長の思わしくないところもあり、取り扱いが難しいところです。木材生産や多目的機能が十分に発揮されるような、森林づくりを目指したいと考えています。



秋の妙高山



不動滝

また、当森林事務所は、自然休養林等の関係から、地域の関係団体などとの関わりが多く、信頼関係を築くため、要望等に迅速に対応することに心がけています。

国有林を現場で管理する重要な職務をしっかりと受け止め、森林の管理や整備を第一に、国有林の窓口として、地元の方々からの国有林に求められるニーズに対して、しっかりと応えていきたいと考えています。



国有林のフィールドを活用した森林教室